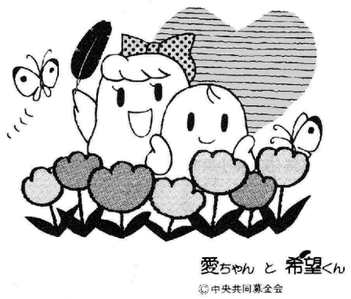
くりやま社協だより

2009 7.1

認め合い、支え合い、大きく広げよう福祉の輪

やさしい心を育みます　盲導犬学習会

※関連記事５ページ



●平成21年度社協事業計画・社協予算
平成20年度社協決算……２、３
●社協事業報告……４、５
●夏休み体験ボランティア……６
●ボランティア……７
●社協からのお知らせ……８

社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分を受け作成しています

日ごろの悩みや体験を打ち明けてみませんか？
家族介護者リフレッシュ事業のご案内

在宅で介護している方々が日頃の介護疲れを癒し、また、同じ悩みを持つ方々と情報交換をして、気分転換していただくことを目的に開催します。

○日　　時　７月１６日（木）
　　１０：００～１５：００
○参加対象　在宅で介護されているご家族、
　　在宅で介護されていたご家族
○行 き 先　しんしのつ温泉　たっぷの湯(新篠津村)
　　個室を利用して、日帰り入浴昼食付)
○参 加 費　１人　１，５００円
○日　　程　栗山町役場出発（１０時）
　　→　たっぷの湯着（１１時）
　　→　くつろぎの時間
　　→　昼　食（１２時）
　　→　温泉入浴等
　　→　たっぷの湯出発（１４時）
　　→　栗山町役場到着（１５時）
○定　　員　２０名
○申込締切　７月６日（月）まで社協へ

聴き上手から話し上手へ
「話の聴き方講座」のご案内

普段、なに気なく行われているコミュニケーションの中で、相手の気持ちに寄り添い、話に耳を傾け、受けとめる「話の聴き方」について理解を深めることを目的に開催します。

○日　時　１回目：７月１７日（金）
　　１８：３０～２０：３０
　　２回目：７月２２日（水）
　　１８：３０～２０：３０
○会　場　栗山町総合福祉センターしゃるる　研修室
○講　師　松坂　志津枝氏
　　・シニア・ピア・カウンセラー
　　・心理療法カウンセラー１級
　　・札幌市清田区民生委員児童委員
　　・フラワーボランティア会員
○テーマ　１回目：相手を活かし、自分も活かす話の聴き方
　　２回目：聴き上手は話し上手
○定　員　　３０名程度
○参加料　　無　料
○申込締切　７月１３日（月）まで社協へ

事務局通信

★新　任（平成21年４月１日付）
事務局長　吉　田　義　人
事務職員　小　野　美由紀

★事務局体制
事務局長　吉　田　義　人
業務係長　生　駒　孝　志（町より出向）
福祉活動専門員　冬　野　大　希
事務職員　小　野　美由紀

★居宅介護支援事業所
介護支援専門員　中　村　由　江

★訪問介護事業所（職員のみ）
サービス提供責任者　小田嶋　京　子
訪問介護員　武　差　純　子

ご厚志ありがとうございます

平成21年２月21日以降　平成21年６月20日までにお寄せいただいた方

●金一封

南　坂　明　憲　様（北学田）母の逝去に際して
青　野　正　弘　様（松風３）妻の逝去に際して
村　岡　信　春　様（南学田）父の逝去に際して
達　　恵　昌　様（中央３）社会福祉事業へ
中　川　た　か　様（中央３）夫の逝去に際して
尾　形　キ　サ　様（日　出）社会福祉事業へ
森山愛子ファンの集い（代表松本康幸）様より
社会福祉事業へ

編集後記

花いっぱい運動の実施地域をお伺いしてきました。
限られた時間の中でしたので、お伺いできなかったり、終了直後のところもありましたが、花が植えてあることで、その場所が『パッ』と明るくなるように感じます。
チラシでは、日曜に実施となっておりますが、それぞれの地域の実情に合わせて、金曜や土曜に実施されたり、前日に草を刈って準備されたり、花の色どりを考えて植えていただいたりと町内会・自治会の役員さんやご協力いただいた皆さまお忙しい中、ありがとうございました。

平成２１年７月１日発行
発行：社会福祉法人
栗山町社会福祉協議会
〒069-1513　栗山町朝日４丁目９番地３６
栗山町総合福祉センター「しゃるる」１階
TEL（0123）72－1322
FAX（0123）72－5121
E-Mail　k-shakyo@jeans.ocn.ne.jp
ky_sya@nskk.gr.jp
印刷：山東印刷株式会社

▲南町内会ふれあいサロン

H21年度

社協 事業計画決まる！

明日への確かな一歩を
社協活動の予算を承認

遠くの家族より、近くの他人・・。

少子高齢化や経済の悪化などで私たちを取り巻く環境は大きく変化し、安心して暮らして行くには町内・自治会などの役割が重要になっています。

「遠くの家族より、近くの他人」という言葉もありますが、何かあった時に直ぐに助け合えるのはやはり町内・自治会の「仲間」ではないでしょうか。

今年も社会福祉協議会では、地域のみんなで助け合う地域づくりを推進してまいります。

今回は、3月26日の評議員会で決定しました今年度の予算と事業計画、5月18日の評議員会で決定しました前年度の決算を報告いたします。

1．地域福祉活動の推進

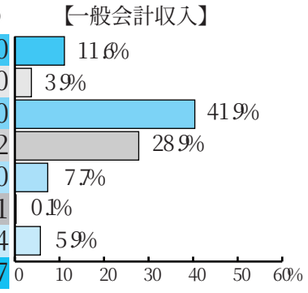
（1）愛らぶ活動事業
（2）ふれあいサロン事業
（3）まちを美しくする花いっぱい運動
（4）ふれあい広場事業
（5）知って得する福祉なんでも講座
（6）安心・安全・福祉のまち懇談会
（7）自治区構想モデル地区との連携強化
（8）高齢者福祉事業
（9）児童・母子福祉事業
（10）障がい者福祉事業
（11）共同募金・歳末たすけあい募金事業
（12）生活福祉資金貸付事業
（13）無料法律相談の開設（札幌弁護士会）
（14）社協だより発行
（15）民生・児童委員協議会連携
（16）福祉関係団体支援

平成21年度事業予算

◆一般会計

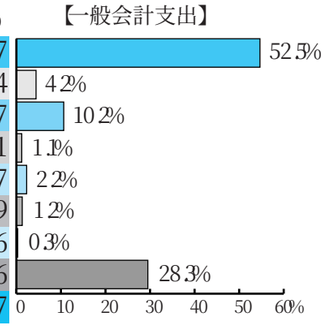
収入　（単位：千円）

会費収入	3,000	11.6%
寄附金収入	1,000	3.9%
補助金及び助成金収入	10,900	41.9%
受託金収入	7,502	28.9%
共同募金配分金	1,990	7.7%
雑収入	71	0.1%
前年度繰越金	1,544	5.9%
合計	26,007	



支出　（単位：千円）

法人運営事業	13,657	52.5%
調査企画広報事業	1,094	4.2%
地域福祉活動事業	2,647	10.2%
高齢者/障害者福祉事業	291	1.1%
ボランティア活動事業	567	2.2%
心配ごと相談事業	319	1.2%
青少年/母子福祉事業	66	0.3%
在宅福祉サービス事業	7,366	28.3%
合計	26,007	



◆介護保険事業特別会計予算（居宅介護支援、訪問介護、障害者自立支援）

収入　（単位：千円）

介護保険収入	11,820
障害者自立支援収入	372
受託金収入	241
雑収入	30
合計	12,463

支出　（単位：千円）

人件費支出	11,132
事務費支出	1,042
負担金支出	189
予備費	100
合計	12,463

忘れていませんか、いまの幸せを

えー本当！　平均寿命40歳？

▲研修に来られたマラウイ共和国の方々

今年2月、JICA（独立行政法人　国際協力機構）の依頼でアフリカのマラウイ共和国（人口1120万人）から国や自治体の職員が研修にやってきました。

発展途上国とのことで栗山の先進的？な取組みを紹介したつもりでしたが、実は逆に私たちが高度成長の中での落し物に気付かされました。

それは、「いまの幸せをしっかりと感じる」ことでした。

マラウイでは平均寿命が40歳くらいとのことで、その要因は飢餓やマラリア、結核などですが、何よりも大きな要因はエイズで年間9万人近くの人が亡くなっており、その大半が20歳以下の子どもや若者たちとのことでした。

生きたくても生きられない・・・のが現状なのです。

それに比べて私たちはどうでしょうか、医療や栄養などの充実により長寿社会（日本の平均寿命は女性で87歳、男性で79歳）を得ている今、その幸せを感じる心が最も求められているのではないのでしょうか。

企業の社会貢献に感謝！

経済の疲弊などにより消極的な話ばかりが多く聞かれますが、町内では地元企業による心温まる活動が行われ、次代を担う子どもたちなどに大きなプレゼントとなりました。

栗山町では、従来から多くの企業により寄附やボランティア活動が積極的に行われ、やさしいまちづくりの「こころ」を育てる大きな役割を果たしていただいております。ありがとうございました。

継立小・中グラウンド整備
共立道路㈱

共立道路㈱（鵜川昌久代表取締役社長）の社員約20名は、6月1日、継立小・中学校それぞれのグランド整備と草取りなどを行っていただきました。

同社は、毎年「何か町の役に立つことができれば」と施設の整備のボランティアをされており、真新しく整備されたグランドは、早速授業や部活で使われ、子どもたちの歓声で溢れておりました。

栗中グラウンド整備
栗山建設協会

栗山建設協会（廣岡秀博会長）の会員約30名は、5月19と20日の2日間、栗山中学校グラウンドの野球場やトラックの整備を行っていただきました。

同協会では、3年前より「将来を担う子どもたちのために役立つこと」をとボランティアで、実施されており、今年はショベルカーで凸凹をならし、ローラーで整地したほか、水はけの悪い場所に地下排水溝を敷設、野球器具庫をクレーンで持ち上げ土台の傾きを直すなどされました。

ふれあいサロン ▶
実施町内会
・１２区町内会
・南町内会
・松栄町内会
・松風第２町内会
・継立町内連合会
・ときわ町内会

▲ふれあいサロン実施団体情報交換会

3．ボランティア活動の推進

（1 ）ボランティアの発掘・育成
（2 ）人にやさしいまちづくりセミナーの開催
（3 ）ボランティアスクールの開設
（4 ）学校ボランティア活動普及推進事業

4．運営体制の充実

（1 ）財政運営の健全化
（2）自主財源の増収対策に関する
調査・検討
（3 ）運営管理体制の充実
（4 ）役職員の各種研修会への参加
（5 ）職員研修の充実

2．在宅福祉活動の充実

（1 ）居宅介護支援事業の適正運営
（2 ）訪問介護事業の適正運営
（3 ）障害者自立支援事業の適正運営
（4 ）地域福祉権利擁護事業支援体制の強化
（5）家族介護者リフレッシュ事業
（6）車いす貸し出し事業
（7）栗山町からの受託事業
・高齢者生活管理指導員派遣事業
・配食サービス事業
※週５日から６日に増
土曜日の配食実施
・電話サービス事業
・除雪サービス事業
・寝具洗濯・乾燥・消毒サービス事業

平成 20年度事業決算報告

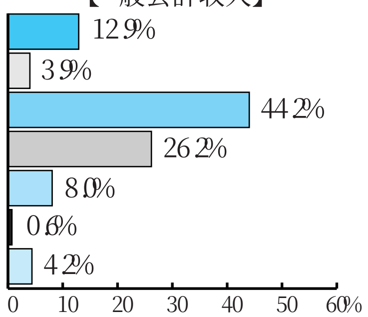
一般会計５月 18日の理事会及び評議員会で議決

◆ 一 般 会 計

収入　単位 円）

会費収入	3,012,545
寄附金収入	911,370
補助金及び助成金収入	10,350,000
受託金収入	6,139,510
共同募金配分金	1,870,062
雑収入	139,201
積立金収入	1,000,000
合計	23,422,688

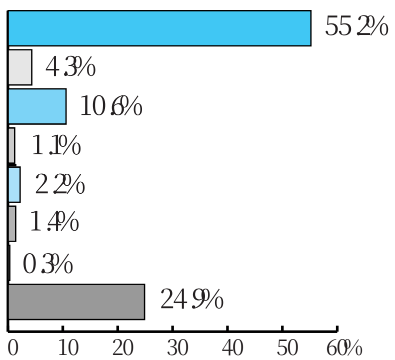
【一般会計収入】



支出　単位 円）

法人運営事業	12,712,617
調査企画広報事業	989,734
地域福祉活動事業	2,430,254
高齢者 /障害者福祉事業	271,946
ボランティア活動事業	501,206
心配ごと相談事業	314,600
青少年 /母子福祉事業	66,000
在宅福祉サービス事業	5,726,366
合計	23,012,723

【一般会計支出】



◆介護保険事業特別会計決算報告
（居宅介護支援、訪問介護、障害者自立支援）

収 入　（単位 円）

介護保険収入	12,675,720
障害者自立支援費収入	389,250
受託金収入	546,910
雑収入	50,080
受取利息配当金収入	17,537
合計	13,679,497

支 出　（単位 円）

人件費支出	10,373,180
事務費支出	1,051,463
負担金支出	298,769
合計	11,723,412

訪問介護事業実績

延べ利用件数	2,462件
延べ訪問時間	2,604時間

居宅介護支援事業実績

延べプラン作成件数	343件

障害者自立支援事業実績

延べ利用件数	259件
延べ訪問時間	259.5時間

夏休み体験ボランティア参加者募集！ 7月27日～8月18日

社協では､「やさしさ」や「気づかい」の気持ちを育む夏休み体験ボランティアを実施します。体験したいメニューを選び、お気軽にご連絡ください。

1．老人福祉施設体験

●養護老人ホーム泉徳園・デイサービスセンター
・受入時間　９：００～１５：００
・昼　　食　各自持参

●特別養護老人ホームくりのさと
・受入時間　９：３０～１５：００
・昼　　食　各自持参
※３１０円で施設の昼食を利用者と一緒にいただけます。

●ガーデンハウスくりやま
・受入時間　１０：００～１５：００
・昼　　食　各自持参

※活動内容
利用者とレクリエーションやお話を通して交流を深めます。

2．配食サービス体験

●活動場所　総合福祉センターしゃるる
●受入曜日　水・木・金曜日
●受入時間　８：３０～１３：００
●昼　　食　調理した弁当
●活動内容　弁当の調理と配送、回収した弁当箱の洗い作業を体験します。

3．電話サービス体験

●受入時間　９：００～１２：００
●活動内容　電話で高齢者とお話します。

4．児童センター体験(高校生以上)

●受入時間　９：００～１６：００
※午前か午後の半日体験もできます。
●活動内容　児童と遊びを通して交流を深めます。

5．継立・角田保育所体験(高校生以上)

●受入時間　９：００～１６：００
●昼　　食　給食代２６０円
●活動内容　児童と遊びを通して交流を深めます。

6．ハローENJOY施設体験

●受入時間　１０：００～１６：００
●昼　　食　各自持参
●活動内容　利用者と一緒に作業やお話をして交流を深めます。

【お申込・お問合せ先】

◆実施期間　７月 27日(月)～８月 18日(月)
※月～金曜日(土日、祝日除く)
◆参加対象　中・高校生・専門学校生
大学生・興味のある方
◆参加費用　全コース無料(内容によって一部有料)
◆申　　込　随時受付します。
◆そ の 他　参加者には事前のオリエンテーションがあります。
◆申込み先　栗山町社会福祉協議会
電話：７２－１３２２

まちの景色が変わった！

あなたの植えた一輪で

5月31日、町内・自治会のご協力により、今年で33年目を迎えた「花いっぱい運動」が雨天の中開催されました。

各地域では、草取り・花植えなどの役割を分担し、公園や街路樹に花が植えられ、街の景色が明るく変わりました。

地域によっては、雑草が取られ、花が植えられることで、ごみのポイ捨てが減少したとの話もありました。

運動に先立ち29日には、植えられる花苗と肥料の仕分けをする作業ボランティアに栗山町ボランティア連絡協議会（下山梅子会長）より22名のご協力をいただきました。

▲中 央
町内の各地域で草取りと花植えが行われました！

◀ご縁通り

▲花苗の区分け

▲松　栄

▲青　葉

知って得する福祉なんでも講座のご案内

▶マジックを習おう・楽しもう

ふれあいサロン・町内会・自治会・老人クラブ等の集まりの折に、「興味を持っていること」や「聞いてみたいこと」などを専門の方から話を聴いたり、みんなで考えたりする機会としてご利用下さい。

講座の内容に応じて、社協が講師派遣の調整をおこないますのでお気軽に相談ください。

《講座の一例》

区　分	内　容
健康・福祉	かんたんにできる！　足と脚のトレーニング
	安心してかかれる医療を守るために
	認知症サポーター養成講座
	お口の体操　～口の健康が元気の秘訣～
	介護保険制度について
	長寿医療制度について
防　災	地域防災を話し合う
	地域の地図を使って防災を考える
防　犯	振り込め詐欺対策は大丈夫？
	悪徳商法にご用心
生　活	交通安全
ふるさとの歴史	栗山の歴史、ふるさとの民話
そ の 他	マジックを習おう・楽しもう

盲導犬から福祉の心を学ぶ ー栗山小学校 4年生 85名ー

３月10日、栗山小学校の４年生（85名）を対象に盲導犬について理解を深める福祉学習を実施しました。

講師に北海道盲導犬協会の斉藤郁美さんとＰＲ用の盲導犬ユウカを招き、視覚障がい者と盲導犬について学習しました。

はじめに、盲導犬の一生についてのお話や盲導犬に関するクイズで理解を深めたあと、視覚障がい者の日常生活をサポートする音声式の腕時計・電卓・白杖などを紹介、６名の児童が盲導犬と歩行体験をしました。

盲導犬と歩行体験した児童からは「緊張した」「ドキドキした」、「見えなくてもリラックスして歩けた」などの感想が聞かれました。

◀盲導犬のお話

▶緊張の歩行体験

●主な４つの仕事
- ★物をさがす
- ★障害物をよける
- ★交差点でとまる
- ★真っ直ぐ歩く

●仕事をしている時の注意点
- ★さわらない
- ★声をかけない
- ★物をあげない
- ★興味を引くようにじっと見ない
- ★見かけた時は、静かに見守る

栗山のパピーウォーカーさんご紹介！

▲ 高橋澄子さん（朝日3丁目）と
盲導犬候補のルル（メス）

●パピーウォーカーになられたきっかけは？
- ・テレビを見て、やりたいと思っていた時に、栗山町広報（2007年 11月号）に募集記事が掲載されたことです。

●活動して良かったことは？
- ・散歩をしている時に犬のことを通じていろんな方とお話ができるようになったことです。

●活動して感じることは？
- ・とても利口なので、育てやすい。
- ・訓練した中の約２～３割しか盲導犬になれないので、もっと活動する盲導犬が増えるといいと思います。
- ・１人でも多くの方がパピーウォーカーになって欲しいです。

★パピーウォーカーとは？
- ・盲導犬の候補として生まれた生後50日くらいの子犬を約１年間、家族として迎えていただくボランティアです。

★お問い合わせ先　（財）北海道盲導犬協会
電話　０１１－５８２－８２２２

★どんな人がなれるの？
- ・札幌市内や近郊にお住まいの方。
- ・室内で飼育できる方。
- ・犬を乗せて移動できる自家用車をお持ちの方。
- ・長時間は留守にしない方。